

患者の皆様へ

2023年7月27日

千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部

COVID-19 は世界的にパンデミックを来している新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) による感染症です。日本でも多くの重症例が報告されていますが、臨床経過や有効な治療法など明らかでない点が多く、データを集積・解析し治療法を確立することが急務です。そのため日本集中治療医学会や日本救急医学会が中心となり、横断的 ICU 情報探索システム CRISIS を立ち上げ実態調査を行なっています。当院もこれに賛同し参加しています。登録された診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 課題名

「本邦での COVID-19 重症患者の疫学的調査:横断的 ICU 情報探索システム (CRISIS; Cross Icu Searchable Information System)」

2. 意義・目的

「COVID-19 患者の救命や予後改善に役立てるため、症例データベースを解析する」

3. 方法

2020年1月1日から2023年3月31日までの間に当院ICUに入院し、人工呼吸器やECMO (エクモ) による治療を受けた全てのCOVID-19患者さんが対象です。収集された年齢、性別、体重、基礎疾患、各種重症度スコア、採血結果、臨床経過、転帰などのデータを他施設の患者さんのデータとともに解析します。なお、CRISIS のデータベースに登録する時には、データを個人が特定できない形にして登録されています。

4. 個人情報の取り扱いについて

得られた個人情報は、匿名化し外部に洩れることのないよう厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は特定の担当者のみが取り扱います。

5. 診療情報などを利用して欲しくない場合について

CRISIS は主に適切な医療体制の維持のために用いられますが、収集された情報の一部が研究目的に使用されます。研究目的での使用についてご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関： 千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部

本件のお問合せ先： 千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部

医師 服部憲幸 043-(222)-7171 内線 6365